



病院ニュース さわらび

平成 27 年 7 月 10 日号



十和田がん学術講演会開催報告

十和田がん学術講演会

日時：2015 年 6 月 19 日（金）

18:30～20:00

会場：十和田市立中央病院

別館 2 階講堂

Opening remarks 院長 丹野 弘晃

座長 外科診療部長 杉田 純一

「当院における大腸がん治療の現状
- 症例提示を含めて -」

演者 外科 小久保翔志



特別講演

「大腸癌化学療法の現状と未来

～分子標的治療薬の位置づけ～」

演者 昭和大学藤が丘病院

腫瘍内科・緩和医療科

教授 市川 度 先生

薬局 薬局長 岩織 玲子

梅雨入りが遅れ、爽やかな初夏の風吹く平成 27 年

6 月 19 日、十和田市立中央病院別館講堂に於いて「十和田がん学術講演会」が開催されました。当日は週末の多忙の中、上十三地区より医師・薬剤師・メディカルスタッフ合わせて 54 名と多数の参加を頂き、充実した講演会が行われました。近年の大腸がんの罹患率・死亡率の増加と、青森県のがん死亡率が全国でも上位にあることなどから、医療従事者が大変高い関心を持っている事が伺えました。



症例提示では、当院外科の小久保翔志医師より、当院外科における大腸がんの現状と手術や化学療法について紹介がありました。

特別講演は、昭和大学藤が丘病院 腫瘍内科・緩和医療科教授の市川 度先生をお迎えして、「大腸癌化学療法の現状と未来～分子標的治療薬の位置づけ～」と題して、辛口の解説の中にもユーモア溢れる講演で、最新の化学療法について分かり易く解説して頂き、あっという間の 1 時間でした。質疑応答では、当院外科の北村先生、土屋先生、薬剤師の藤井さんから、日頃の診療での悩みや疑問などの質問があり、活気溢れる講演会となりました。





専門チーム紹介 / 外科・放射線科

乳がん検診で「精密検査」を勧められたら...

まずはおちついて「乳腺外来」を電話予約

当院は市内で「乳腺外来」がある唯一のがん拠点病院です。再検査のみならず、いっしょに情報を集めたり、他院への紹介もできます。乳がん治療に欠かせない、手術・化学療法・放射線・緩和療法すべてに対応できます。

予約専用電話:0176-23-5796



要精密検査になる人は何%位でしょうか

当院での昨年の検査実績によると 1,672人中、123人が「要精密検査」と診断されています。割合にすると約7%で全国平均と同等の結果です。そのうち実際にがんの患者さんは10分の1以下です。安心するために乳腺専門外来をご利用ください。

「再検査」やっぱり女性に診てもらいたい

女性の目線を生かした「乳がん」専門集団が診療に当たっています。「乳房の検査は女性が行う」が当院のモットーです。マンモグラフィーは3名、超音波検査は1名の女性専門技師を配置しています。

「乳がん」女性のがん第一位に

乳がんは16人に1人の割合でかかる病気ですが、早期発見で90%以上の方が治ります。ただし、少なくとも5年程度は経過観察が必要です。長期の通院をお考えください。お住まいから、なるべく近い「乳腺専門病院」を選ぶことで、ゆとりある治療(時間や費用など)を受けることができます。

女性が中心の「乳がん治療」

マンモグラフィー認定医師は男性ですが、がん薬物療法認定薬剤師、緩和療法認定看護師、がん化学療法認定看護師、マンモグラフィー技術認定技師、超音波検査認定技師、がん相談員など、女性スタッフがメインです。

女子力の高い「乳がん治療」が特長。

「がん」で仕事をあきらめない

当院ではがん治療で仕事をやめない支援を続けております。例えば、放射線治療(トモセラピー)では最終予約時刻を16:40分まで延長しました。がん相談員、スタッフが安心して治療ができるよう一緒に行動していきます。当院のさまざまなサービスを活用することで、市内での治療が可能になります。離職を防ぎ、本人のみならず、御家族の負担を減らすことができます。





病棟フィッシュ活動の紹介



手術室における「癒しの空間づくり」

手術室 看護師長 川嶋 明美

手術室は、病棟のようにスポットライトを浴びる癒しの空間は設けられていないため、受け渡しホールのウインドウを利用し装飾をしています。和田・田中看護師が中心となり、手術患者様、手術室や病院スタッフが季節を感じ心が和むように、色合いや配置を考えデザイン

しています。手術に対する緊張や不安を抱え入室される患者様が、厚く重苦しい扉が開いた時に、少しでも緊張がほぐれるように、また、絶食で入室されるため食べ物を連想するものは飾らない、という細やかな気配りもしています。

その他、オープンスペースであることから手術室内の煩雑さが見えないように、ウインドウ全体を利用し目隠し的な装飾を工夫しています。患者様に限らず、送迎の看護スタッフや医師の皆様も「ほっ」とできるような空間作りをしていますのでぜひご覧になって下さいね。



無事に手術を終え「帰る」=「カエル」をひっかけてみました！



閉鎖された空間ですが、季節を楽しんでくださいね



意識下で手術を受ける患者様や医師の好みに合わせ、BGMを流すことも・・・

また、麻酔科診察前室でも、手術前の麻酔科受診に訪れる患者様の癒しの空間づくりも行っていますので、機会があったら覗きにきて下さいね。



「きらめき講座」

出前致します !!

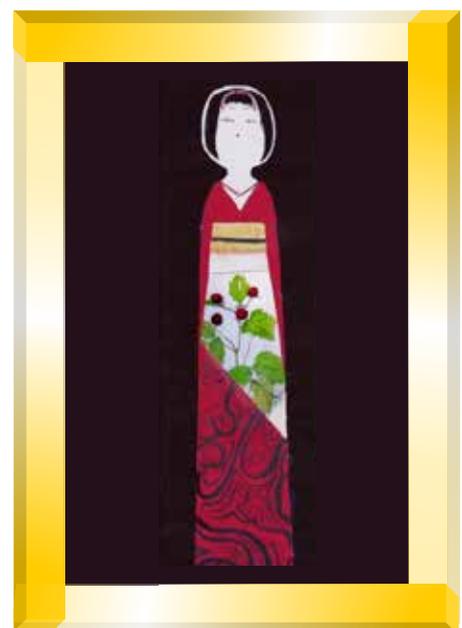
「ふるさと出前 きらめき講座」は、市民の皆さんが主催する集会などに、市職員(当院も含む)が講師として出向き、

講演する制度です。

当院からは、院長はじめ各分野のスタッフが出張して講演をしておりますので、お問い合わせ等は下記のリンクからご覧下さい。



<http://www.city.towada.lg.jp/docs/2012022000102/>



今月のアート「与八の幻想～野いちご～」

画・畑中 光昭